

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-95452

(P2001-95452A)

(43)公開日 平成13年4月10日(2001.4.10)

(51)Int.Cl.

識別記号

F I

テーマコード(参考)

A 01 K 97/10

A 01 K 97/10

A 2 B 1 0 9

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平11-278011

(22)出願日

平成11年9月30日(1999.9.30)

(71)出願人 000002495

ダイワ精工株式会社

東京都東久留米市前沢3丁目14番16号

(72)発明者 藤原 由朗

東京都東久留米市前沢3丁目14番16号

ダイワ精工株式会社内

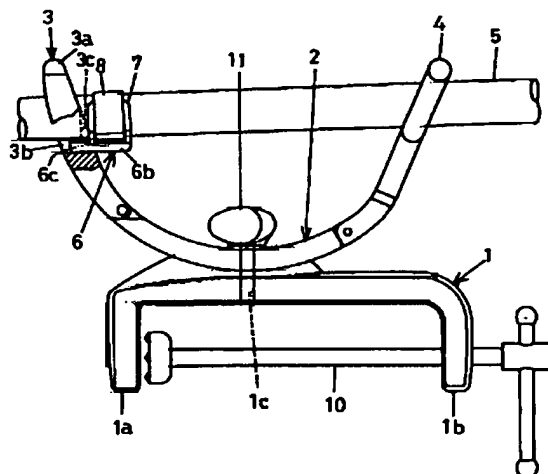
Fターム(参考) 2B109 CA14 CA29

(54)【発明の名称】 竿掛装置

(57)【要約】

【課題】 竿の前方への抜け落ちが防止され、速やかに煽り動作が出来ると共に必要に応じて釣竿の取り替えが容易に出来ること。

【解決手段】 船べりに係止するためのクランプ部1と、クランプ部1に回動と前後位置が変更可能な湾曲した竿受け基部2と、基部2の前側に前後に回動可能に取り付けられたY字形の前方の竿受け部3と、基部2の後側に前後に回動可能に取り付けられたY字形の後竿受け部4と、釣竿5に取り付けられた釣竿緊締具6で構成されている。前方の竿受け部3に先細り状の係止凹部3bが形成されている。釣竿緊締具6に係止凸部が形成されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】船べりに係止するためのクランプ部と、釣竿を保持する竿受け部を備えた竿受装置において、釣竿緊締具に形成した係止凸部を、竿受装置の前記竿受け部に形成した係止凹部に係止して釣竿の前方への脱落を防止したことを特徴とする竿掛装置。

【請求項2】前記係止凹部は先細り状であることを特徴とする請求項1記載の竿掛装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、釣竿を掛け止める竿掛装置の改良に関する。

【0002】

【従来の技術】従来竿掛けを使用している時、釣の最中は釣竿を固定保持しておき魚がかかったら、魚とのやり取りや取り込みのため速やかに竿掛けから釣竿を取り外す必要があった。また魚がかかって釣竿が引っ張られる場合は竿掛けから釣竿が脱落しないようにする必要性もあった。かかる構成機能を備えたものに例えば、実開昭50-2886号公報や特開平8-280311号公報が上げられる。前記前者は釣竿に保持具をネジで固定し、保持具に傾斜面のある縁を形成し、船べりに固定具を取り付けて固定具の上面に傾斜面のある縁がスライド出来る受け具が固定されている。前記後者は前側の竿受けガイドに逆Ω字形の穴溝が形成されている。

【0003】しかし、前者は竿の前方への抜け落ちは防止されるが、上方に速やく煽ったりする事はできないため、アワセが遅れる恐れがあった。又、後者も前方への竿の抜けは規制されるが、受け口が竿のストッパーとなる際は開放口が抵抗となり、竿の上方への煽り上げは困難であり、また、開放口の幅は不変であるため、使用する竿の長さが変わり、竿の径が変化すると、ストッパーの規制状態も変化して竿受けを取り替えなければならなかった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】解決しようとする問題は、竿の前方への抜け落ちは防止されるが、上方に速やく煽ったりする事はできないため、アワセが遅れることや、竿の径が変化すると、ストッパーの規制状態も変化して保持具に対し釣竿の取り替えや竿受けの取り替えが面倒なことである。

【0005】本発明の目的は前記欠点に鑑み、竿の前方への抜け落ちが防止され、速やかに煽り動作が出来ると共に必要に応じて釣竿の取り替えが容易に出来る竿掛装置を提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、請求項1に係わる本発明は、船べりに係止するためのクランプ部と、釣竿を保持する竿受け部を備えた竿受装置において、釣竿緊締具に形成した係止凸部を、竿受

装置の前記前竿受け部に形成した係止凹部に係止して釣竿の前方への脱落と回動を防止したことを要旨とするものである。請求項2に係わる本発明は、前記係止凹部は先端に行くにつれて先細り状であることを要旨とするものである。

【0007】

【発明の実施の形態】請求項1の本発明により、魚がかかって釣竿5が前方に引っ張られた場合も、釣竿5に取り付けられた釣竿緊締具6の係止凸部6cが竿受け部3の先細り状の係止凹部3bで前進が阻止され、基板6aが両側竿受け3a、3aに引っかかるため釣竿5の脱落を防止できる。魚が餌を食べアタリがあった時も、係止凸部6cを係止凹部3bの中から上方に離脱できるので、釣竿5を前竿受け部3の上方に煽って速やかに合わせが行える。係止凸部6cが先端先細り状の係止凹部3bに係止されるため、釣竿5の回転止めとなるので、釣竿5の上方に取り付けられる両軸受型リールも回転することなく使用可能になる。前方の竿受け部3に係止凹部3bを設け、釣竿5に容易に着脱可能な釣竿緊締具6を取り付けるので安価な竿掛装置が提供出来る。

【0008】請求項2の本発明により、釣竿5が前方に引っ張られた場合も、釣竿緊締具6の係止凸部6cが前方の竿受け部3の先細り状の係止凹部3bで前進が阻止され、釣竿5の前方への脱落が防止される。係止凹部3bを断面半円弧状にすれば釣竿5を前方の竿受け部3の上方に煽って速やかに合わせが行える。

【0009】

【実施例】以下、図示の実施例によって本発明を説明すると、図1から図6は第1実施例で、図1は竿掛装置の一部断面側面図、図2は竿掛装置の平面図、図3は竿掛装置の正面図、図4は釣竿緊締具の側面図、図5は釣竿緊締具の(a)正面図で(b)断面正面図、図6は釣竿緊締具の底面図である。

【0010】竿掛装置は船べりに係止するためのクランプ部1と、クランプ部1に回動と前後位置が変更可能な湾曲した竿受け基部2と、基部2の前側に前後に回動可能に取り付けられたY字形の前方の竿受け部3と、基部2の後側に前後に回動可能に取り付けられた?字形の後竿受け部4と、釣竿5に取り付けられた釣竿緊締具6で構成されている。クランプ部1は断面コ字形で一側脚部1aに向けて他側脚部1bからネジ杆10が螺合されている。クランプ部1の上部にはネジ孔1cが形成されている。一側脚部1aにもネジ孔1dが形成されている。

【0011】竿受け基部2には長孔2aが形成されて長孔2aに通したネジ11がクランプ部1のネジ孔1cに螺合される。又、ネジ11と基部2をネジ孔1dに螺合することで、クランプ部1を縦横両方向で使うことができる。前方の竿受け部3はY字形に形成されて両側の竿受け3a、3aの基部に前方に向けて先細り状の係止凹部3bと垂直面3cが形成されている。

【0012】釣竿緊締具6は緩い湾曲形状の基板6aの中心に下側に向けて凸部6bが形成されてかつ凸部6bは前方に向けて突出されて係止凸部6cに形成されている。係止凸部6cは断面逆台形でかつ底面側の横幅は前側が狭く、後側は幾分広い先細り状に形成されている。基板6aの両翼には長手方向の長孔6d、6eが形成されている。基板6aの上には円弧状の弾性体7が固定されている。一方の長孔6dには弾性ベルト8が通されて端部8aがベルト同士で固定され、弾性ベルト8は弾性体7の外周を回して他方の長孔6eに通された後、折り返して端部8bは弾性体7の外周に重ねられる。弾性ベルト8の端部8bと外周の適所にベルベット式面ファスナー等の係止具が固定されている。

【0013】竿掛装置が使用される時は、釣竿緊締具6の弾性体7の中には釣竿5が挿入されて弾性ベルト8で緊締される。釣竿緊締具6が取り付けられた釣竿5は前側が前方の竿受け部3の両側竿受け3a、3aの間に載せられ、かつ釣竿緊締具6の係止凸部6cが係止凹部3bに差し込まれる。釣竿5の後側は後方の竿受け部4に掛け止めされる。

【0014】前記のように竿掛装置が構成されると、魚がかかって釣竿5が前方に引っ張られた場合も、釣竿5に取り付けられた釣竿緊締具6の係止凸部6cが前方の竿受け部3の先細り状の係止凹部3bで前進が阻止され、基板6aが両側竿受け3a、3aに引っかかるため釣竿5の脱落を防止できる。魚が餌を食べアタリがあった時も、係止凸部6cを先細り状の係止凹部3bの中から上方に離脱できるので、釣竿5を前方の竿受け部3の上方に煽って速やかに合わせが行える。係止凸部6cが係止凹部3bに係止されるため、釣竿5の回転止めとなるので、釣竿5の上方に取り付けられる両軸受型リールも回転することなく使用可能になる。前方の竿受け部3に係止凹部3bを設け、釣竿5に容易に着脱可能な釣竿緊締具6を取り付けるので安価な竿掛装置が提供出来る。

【0015】図7は第2実施例で、図7は釣竿緊締具の断面正面図である。

【0016】第2実施例では、緩い湾曲形状の基板6aの上に皿状の弾性体9が固定されている。他の構成は前記第1実施例と略同一である。

【0017】前記説明では、前方の竿受け部3に係止凹部3bを設けたが、基部2の後側に前後に回転しない前

方の竿受け部3と同形の後方の竿受け部を設け、この後方の竿受け部に係止凹部3bを設けてもよい。

【0018】

【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載されるような効果を奏する。

【0019】請求項1により、魚がかかって釣竿が前方に引っ張られた場合も、釣竿に取り付けられた釣竿緊締具の係止凸部が前方の竿受け部の先細り状の係止凹部で前進が阻止され、釣竿緊締具の基板が両側竿受けに引っかかるため釣竿の脱落を防止できる。魚が餌を食べアタリがあった時も、係止凸部を係止凹部の中から上方に離脱できるので、釣竿を前方の竿受け部の上方に煽って速やかに合わせが行える。係止凸部が先細り状の係止凹部に係止されるため、釣竿の回転止めとなるので、釣竿の上方に取り付けられる両軸受型リールも回転することなく使用可能になる。前方の竿受け部に係止凹部を設け、釣竿に容易に着脱可能な釣竿緊締具を取り付けるので安価な竿掛装置が提供出来る。

【0020】請求項2により、釣竿が前方に引っ張られた場合も、釣竿緊締具の係止凸部が前方の竿受け部の先細り状の係止凹部で前進が阻止される。係止凹部を断面半円弧状にすれば釣竿を前方の竿受け部の上方に煽って速やかに合わせが行える。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1実施例で、竿掛装置の一部断面側面図である。

【図2】同竿掛装置の平面図である。

【図3】同竿掛装置の正面図である。

【図4】同釣竿緊締具の側面図である。

【図5】同釣竿緊締具の(a)正面図で(b)断面正面図である。

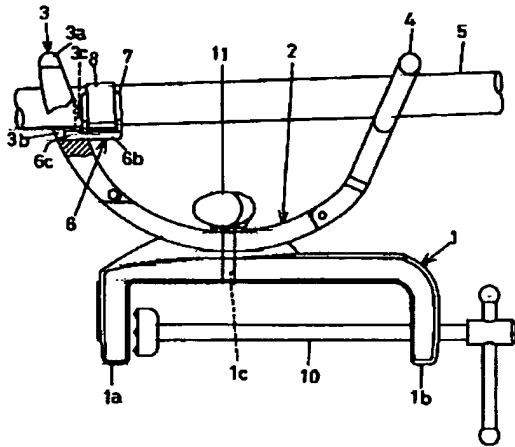
【図6】同釣竿緊締具の底面図である。

【図7】第2実施例で、釣竿緊締具の断面正面図である。

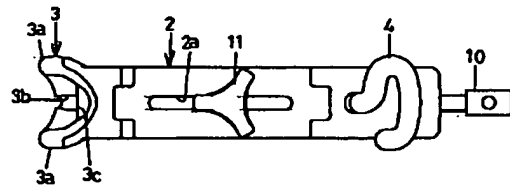
【符号の説明】

- 1 クランプ部
- 3 竿受け部
- 3b 係止凹部
- 5 釣竿
- 6 釣竿緊締具
- 6c 係止凸部

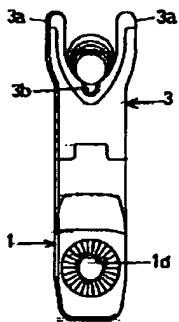
【図1】



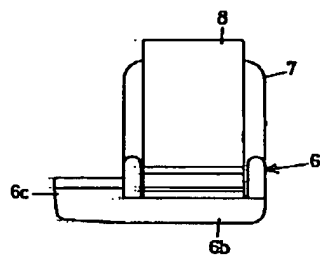
【図2】



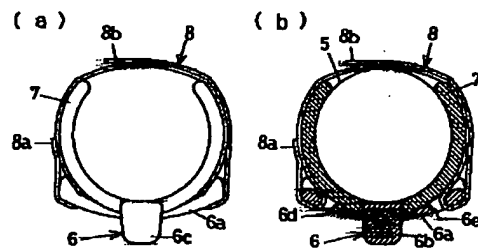
【図3】



【図4】

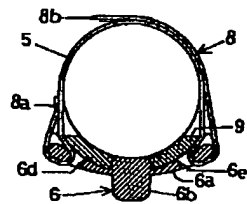
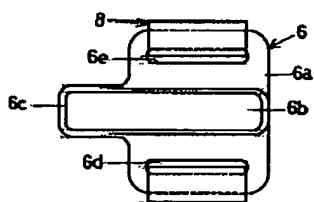


【図5】



【図7】

【図6】



PAT-NO: JP02001095452A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001095452 A
TITLE: DEVICE FOR RESTING FISHING ROD
PUBN-DATE: April 10, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUJIWARA, YOSHIROU	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
DAIWA SEIKO INC	N/A

APPL-NO: JP11278011
APPL-DATE: September 30, 1999

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent a fishing rod from slipping off to the front, make swinging operations rapidly performable and readily carry out the exchange of the fishing rod at need.

SOLUTION: This device for resting a fishing rod is composed of a clamping part 1 for engaging with the side of a boat, a curved rod receiving base 2 capable of carrying out the rotation and the change in the front and rear positions in the clamping part 1, a Y-shaped front rod receiving part 3 mounted on the front side of the base 2 so as to be rotatable back and forth, a rear rod receiving part 4 in the form of a question mark rotatably attached to the front and rear of the rear side of the base 2 and a fishing rod tightening tool

6 attached to the fishing rod 5. A tapered engaging recessed part 3b is formed in the front rod receiving part 3. An engaging protruding part is formed in the fishing rod tightening tool 6.

COPYRIGHT: (C) 2001, JPO